

石坂産業株式会社 くぬぎの森環境塾（埼玉県）

認定事業者名：石坂産業株式会社

活動を行うようになったきっかけ

石坂産業は、ステークホルダーや社員に対して理解を促すために工場の見学通路や雑木林を整備していましたが、2012年に「見せる」経営へ戦略変革を行いました。業界初98%を再資源化する先進的な施設、美しい武蔵野の雑木林を見せることで、当社の取組への理解を促し、認知度を高め、理念・価値に共鳴していただき、CSVとして持続可能な意識をつなげるものです。

2012年10月に環境教育等促進法が施行され、環境教育を体験の提供により支援する民間施設を「体験の機会の場」として認定する制度が設けられたことを受け、「くぬぎの森環境塾」を発足。環境に造詣の深い外部スタッフの登録、プログラム作成、施設の建設や園路の整備などソフト・ハード両面の整備を行い、2013年に埼玉県から、「体験の機会の場」の認定を取得しました。

活動として行っていること

リサイクル工場、くぬぎの森、三富今昔語りべ館、くぬぎの森交流プラザ等のエリアを活用し、五感を使った体験から環境負荷軽減の気づきを促すプログラムを展開しています。

・リサイクル工場

壊された家＝廃棄物が再資源化される様子を見学し、日本の文化であるMOTTAINAI＝4R (Reduce, Reuse, Recycle+Respect) や地球環境問題に対する関心、グリーン購入についての意識を育みます。小学校向けに環境に関するクイズ+スタンプラリー式の見学も実施しています。

・くぬぎの森

江戸時代から続く三富新田の美しい雑木林で森の散策や体を動かす自然体験を通じて、四季を感じ、自然や森の意義・恩恵や畏怖を学びます。



・三富今昔語りべ館

農家の住んでいた古民家を改装し、江戸末期～昭和初期にかけての道具・農具を触って・乗って・食べて・聞いて地域の歴史・文化に触れ昔の知恵と工夫を学ぶことができます。落葉堆肥の発酵熱で沸かした足湯、石臼の粉挽き体験、紙芝居の読み聞かせ体験などがあります。

見学の目的やねらいに合わせて見学プログラムを作成し、さらに施設全体を教材にした職業訓練、高校生向けキャリア支援プログラム、新人研修、企業向け研修ワークショッププログラムのほか、石坂ファームでの収穫体験、食と農を繋げる体験型食育体験などを実施しています。

参加者一人一人が五感で学び、資源循環型社会形成の実現、温室効果ガスの削減や生物多様性保全などに対して自らが「気づき」「考え」「行動する」ことを促しています。



参加者の安全確保について

体験や移動の際には案内スタッフが安全管理を行うため、見学人数に応じた適正な人員配置を行っています。

ISOの観点から、危険性や頻度など安全面に関するリスク評価を洗い出し、手順書の作成とスタッフ間の共有と定期的な見直しを行っています。また、年1回外部スタッフを含めた安全教育を実施しています。

体験の機会の場への参加の状況について

小中学校・高校・大学・専門学校等の教育機関、企業、団体、行政、市民団体など所属問わず、10名以上でご希望に応じたプログラムを作成します。少人数は合同見学を推奨しています。2017年度は、8,300名の方が参加しました。

〔参加した方の声〕

- ・工場で教えてくれた事を忘れずに、これからのごみの分別ルールはしっかり守ろうと思います。(小学校4年生)
- ・3Rともう1つのRを意識してもったいないと思ったことはなるべくやらないようにしたいです。(小学校5年生)
- ・御社の無駄のない再利用方法が非常に参考になったため、社内でも見直す部分を改善に努めたいと思います。(30歳代男性)
- ・環境保全、資源再生循環は地球にとって大切な事であると改めて感じました。(60歳代男性)

地域や国、世代を超えた交流について

例えば、2017年度には、経営団体による地域を限定しない募集型の見学会や経営セミナーの開催、県・大学と海外政府・建材協会による合同視察、大学院のプロジェクトにおける見学プログラムなどの取組を体験の機会の場で実施しました。

環境教育としての効果について

人が住んでいた家が壊され、リサイクル工場の中で人や機械によって選別・リサイクルされている姿を目の当たりにすることで、環境に関する意識をより自分ごとに捉えてもらう機会や、自然体験活動が不足する中で、自然の森の中で体を動かす経験の機会を提供しています。その際、教えるのではなく、学び、自主的に行動することを促しています。



例：小学4年生の環境について考える単元と地域の歴史の単元（総合的な学習の時間と社会科）。工場見学による3Rの復習から環境に対する意識の転換を図り、三富新田の森を歩きながら昔から守られてきた雑木林を実際に体感してもらう。

例：役職者クラスの企業研修。体験型教育フィールドを見学した中での気づきをグループ内で共有し、自分の特性や気づきについての再認識から、共有・交流での新たな知の形成により、日常生活に落とし込むことによって感知力を鍛えるワークショップを実施。

終わりに

学校教育の場としてだけでなく、現在年代と問わず多くの方に「体験の機会のある場」として利用いただいています。当社のプログラムは、環境や自然だけにとどまらず、経営や技術、人、食、農業など、様々な視点から様々な切り口によって無限大の体験を行うことが可能です。

「生きる力」の礎でもある体験活動を通じて、持続可能な未来を形成できるよう、より多くの方へお越しいただければと思います。

所在地・申込み方法

所在地 埼玉県入間郡三芳町上富緑 1589-2

申込方法 三富今昔村 WEB ページでのお申込み、三富今昔村事業部への電話申し込み等

<https://santome-community.com/dantai-program/>

TEL : 049-259-6565

お申し込みの際には団体名、参加人数、見学の目的を申込書へ記入の上、提出をお願いいたします。事前下見、打合せ可能です（事前連絡必要）。

10名未満の場合は合同見学やショートカット工場見学を推奨しています。